臺灣新民日報 夕刊
十一月二十八日
作所 人行者兼 江口保
社報所 臺北市日吉町二丁目四番地
社報所 臺灣日日新報社

濃厚タミン肝油粒
衣糖 ビオスゼリー
台北 藤田本店

襄東襄西各所に敵を捕捉撃砕
壯絶な殲滅戰を展開

【襄東〇〇前線にて二十七日發同盟特派員】襄東、襄西の敵潰敗に乘じつゝある我軍は、二十七日朝襄陽市北方十餘粁地點に進出した。大月、魯居、西井、魯口、鑑塘の各部隊は、沈田嶺を通過して敵の退路を遮断し、殘敵掃蕩に移つた。一方、襄西方面の敵は、二十七日朝襄陽西方三十餘粁の鑑家坪に到着、敵の退路を遮断し、殲滅戰を展開した。襄東の敵は、二十七日朝來鑑口に到着、敵の退路を遮断しつゝあり、又田坡、鑑塘、中西、寒、片島、鑑家の各部隊は、二十七日朝來鑑口北方五十餘粁の各地に進出

住き年を奉祝する
全島青年學校大會
島都に展開する合同訓練

紀元二千六百年を記念する全島青年學校大會に參加する各地青年團の第一陣は二十八日午後一時から川端公園で開會式が擧げられた大會式場は花と緑に飾られ、式場の正面には大會の標語「皇國青年の誇り」と書かれた大きな看板が掲げられ、式場の周圍には各地青年團の旗が林立してゐた、式場には各地青年團員の外に一般觀覽者も多數詰めかけ、場内は立錐の餘地もない程の盛況を呈してゐた、開會式は午後一時から國歌齊唱、皇軍出征將兵の武運長久祈願黙禱、紀元二千六百年紀元節に當り感激に堪へざる旨の電報發信、萬歳三唱、閉式の辭、引續いて國旗掲揚、君が代齊唱、皇軍將兵に對する感謝決議、宣言、表彰狀授與、表彰狀授與者代表謝辭、閉會の辭、萬歳三唱、閉式の辭

△合同訓練の意義　合同訓練の意義は、青年團員が一堂に會して團體訓練を行ひ、團體生活の訓練を通じて團體精神を涵養し、以て青年團の健全なる發達を圖るにあるが、今回の合同訓練は紀元二千六百年を記念する意味に於て、全島青年團員が一堂に會して訓練を行ひ、以て皇國青年の誇りを發揮せんとするものである

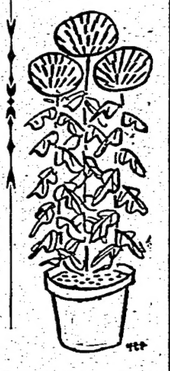
△期日　十一月二日の一日間

△場所　國語學校、第一高女、第二高女、第一中學校、第二中學校、第一商業學校、第二商業學校、第一工業學校、第二工業學校、第一農業學校、第二農業學校、第一師範學校、第二師範

(第三種郵便物認可)

八紘之基柱の奉獻式

之基柱竣工奉獻式は　高松宮殿下台臨の下に二十五日厳かに執り行はれた



アジアの香残る ハンガリーの神話

佐藤信夫

ツルの鳥

ハンガリー國民の代表的な鳥の一つ——それが「アルノの鳥」である。アジヤからバルカン經由といふこの國、このツルの鳥の話は隣接國民に親しまれて來たエンゲドリアといふスキアの若い一人の婦女が姫に關して次の如き話を傳へてゐる。

彼女の戀人が小用が迫れば、それが外國にまで飛んで行く夢を見たといふ、この話を聞いた古老は「彼女の子供は王妃になるであらう」と豫言し、生れ出た子供は「アルモン」と命名されたが、これはハンガリー王家の祖先とされてゐる、ハンガリー人仲介の傳說的の月曜日に訪問した人々に最も美しいツルの卵の供饗を命ずるのを慣例としてゐる。

不思議な鹿

ハンガリーの原始民族マジヤルが狩りをした、狩りをして居た時立派な角を持つた鹿に出會つた、彼等が追い掛けこの鹿を追跡したがその間に見知らぬ土地の河を渡り、遂に新平を發見してアルガルの國人種と出會ふことが出來た長い間ハンガリー人は二十二月二十四日から二十五日の間にかけて即ばれる新年に原夜中に家々を訪問し、家人を起して祝辭をのべ自己紹介した後にこの不思議な鹿の物語を聞かして來た

翌色の月は我が空へにあり
天の岸は又我が右にあり
開け我が不思議な扉を
我が父角の實なる樹の松火
火をつけ多くの松火
さらに消ず
開け我が不思議な扉を
これは武功たけき國王を歌る際でもあつた、この歌で敵血をわかせ

版畫『爪哇風景』(1)

木村啓治

ボロブドール佛跡

爪哇と云へば直ぐに連想、印度、支那、日本、錫蘭、印度、石榴、椰子を聯想するが如く、ハンガリー人も爪哇を聯想する。

ハンガリー人と爪哇——版畫『爪哇風景』(1)

木村啓治

並立し、其上層中央には一基の大塔婆があり、其の周圍には三百餘の小塔婆が取圍んで居る。九層の塔婆ピラミッド狀をなしてゐる。下から其の中央の大塔を見上げると恰も佛教國民の信仰の對象の爲めの塔を作るやうである。各層の壁面には佛陀の前生譚が浮彫されて居る。

白馬御供

藤信夫

日本人が鹿や馬を好んだと同じくハンガリー人も馬を愛し、馬を愛でる。ハンガリー人は馬を愛してゐる。ハンガリー人は馬を愛するそれは彼等の祖先である

花嫁と土の信仰

ハンガリー人は日本人同樣に親しみ深い民族である上には變りがない、土壁と花嫁に土から生れて來る、土壁と

やめませう 茄でこぼしを

加賀榮養學會

茄でこぼしといふことは日本料理の調理の一つで、最近これによつてビタミンの他その榮養素を失ふことが問題になつてゐますが、榮養學からでなく味の點から見てもその害の方が多いやうに思はれます。

石や豆やその他のものにもつかれるのですが、殊に魚類にとれは固有のものが自然に附着されることがあります。

一寸した刺戟が 鼻血の原因になる

異物が入つた時も注意せよ

子供はひようしはづみに鼻の穴に物を入れたりすることがありますが、一寸とした刺戟によつて鼻血を出したり品に異物を入れたりすることがあります。

鼻血は鼻の粘膜から出血するのですが、一寸とした刺戟によつて、鼻の穴をいぢるのが癖になつてゐる子供は鼻血を出すことがあります。

婦人科と内分泌

病源の科學的治療

動物現象と體温

女性ホルモンと女性美

毎月の生理日が安心

これからの女性健康法

婦人科醫學に

曉の町

武田麟太郎作　林唯一畫　(37)

天野源治（十）

西川工場主が、その社長べやを源治に掃除した翌朝の出來事だ。

「——どう、いい消すだな、私は飲けないもんで、お部屋居をせに貰つたんですけたら、……」

「——いや、結構です」

一時後、西川と二人の時の酒を思ひ出した。あやうに、あまいなりの話をんだので、つい話の調子がをかしかつたのかも知れない。

「——何かして、用事者の名前を早く覚ていたいですね、私たちに力が足りないもんだから、……」

「——それを云はねると、私が辛くなりまず、もう少し待つて下さいね」

おきんとしては源治の扶助を仰ぐたくなかつた、そんな感じをあつたからである。

「——お客さんは本當にどうしたんだろう、一しよに寢神社へも行つてて下さる約束だつたんだけど……」

おきんが妻を見るのについて、源治も眼をそちらにやるのだ。

そうされたそれぞ、源治は云つた。

「——どう、いい消すだな、私は飲けないもんで、お部屋居をせに貰つたんですけたら、……」

「——いや、結構です」

一時後、西川と二人の時の酒を思ひ出した。あやうに、あまいなりの話をんだので、つい話の調子がをかしかつたのかも知れない。

「——何かして、用事者の名前を早く覚ていたいですね、私たちに力が足りないもんだから、……」

「——それを云はねると、私が辛くなりまず、もう少し待つて下さいね」

おきんとしては源治の扶助を仰ぐたくなかつた、そんな感じをあつたからである。

「——お客さんは本當にどうしたんだろう、一しよに寢神社へも行つてて下さる約束だつたんだけど……」

おきんが妻を見るのについて、源治も眼をそちらにやるのだ。

——どんなだろう。

そんなちないことを、源治の頭脳の前に考へてゐるのを恥かしく思つて、彼は自分を忘しく叱かりつけた。そのくせ、おきんが、

「——どうして、源治さんは最先生のお家さんを知らないの」

と、たづねた時に、彼はその反對に、なぜ彼女がそんな女と知り合ひなのかを訊きたかつた位だが、すでに坊さん位家をたらしお詩をはじめようとしてゐた。

彼しく親しい法律がつづいた。

酒宴の途中で、誰かが源治のうしろに來て坐つた。きちんと端坐してゐる風に相手を考えてゐた彼は、あるひはそれが最末先生の奥さんだらうと、そつと振り向きた。

「——どうして、源治さんは最先生のお家さんを知らないの」

と、たづねた時に、彼はその反對に、なぜ彼女がそんな女と知り合ひなのかを訊きたかつた位だが、すでに坊さん位家をたらしお詩をはじめようとしてゐた。

彼しく親しい法律がつづいた。

酒宴の途中で、誰かが源治のうしろに來て坐つた。きちんと端坐してゐる風に相手を考えてゐた彼は、あるひはそれが最末先生の奥さんだらうと、そつと振り向きた。

彼はそつと前へてゐるうちに、うしろに誰か氣配がよく感知してゐる人間のものだと感じた。

酒宴の際になつて、その間で無理に立ちたちると、ちようとひようひようとしたが、とたんに、あとから來た人を見た。と、それは最初のおいねなのだ。娘子の親次の位置にやはりどうしても割りたくなる母心であつたのだらう。

「——や、おつ母さん、……」

そのおつ母さんから、……」

と、お座をへ移番して下さいと促したもしかし、座敷は静かにお前からと云ふ風に平令聞した。

坊さんが酔つたあとでおきんは被隔紙へもお詰りしたいし、座草の小間で夜の出番もあるのでゆつくりもしてゐられなかつたが、みんなで一しよに平晩だけを食べたいと、かねて用意してあつた注文品を出した。

「——ほんとに、何んにもないんですよ」

と、おきんはお膳そを一本つけようとした。

「——お構さへ、それはいいんですよ。……俗はこれから帰くなつても七時へ行くつもりなんだから、……」

源治が云ふのに

「だつて、まア、身のために一ばいだけ飲んでよいよ。……おつ母さんも來て下さつて、どんなにうれしがつてゐるか知れやしません」

彼はそつと前へてゐるうちに、うしろに誰か氣配がよく感知してゐる人間のものだと感じた。

酒宴の際になつて、その間で無理に立ちたちると、ちようとひようひようとしたが、とたんに、あとから來た人を見た。と、それは最初のおいねなのだ。娘子の親次の位置にやはりどうしても割りたくなる母心であつたのだらう。

「——や、おつ母さん、……」

そのおつ母さんから、……」

と、お座をへ移番して下さいと促したもしかし、座敷は静かにお前からと云ふ風に平令聞した。

坊さんが酔つたあとでおきんは被隔紙へもお詰りしたいし、座草の小間で夜の出番もあるのでゆつくりもしてゐられなかつたが、みんなで一しよに平晩だけを食べたいと、かねて用意してあつた注文品を出した。

「——ほんとに、何んにもないんですよ」

と、おきんはお膳そを一本つけようとした。

「——お構さへ、それはいいんですよ。……俗はこれから帰くなつても七時へ行くつもりなんだから、……」

源治が云ふのに

「だつて、まア、身のために一ばいだけ飲んでよいよ。……おつ母さんも來て下さつて、どんなにうれしがつてゐるか知れやしません

戰時下ドイツの ヒトラユーゲント

新體制に於ては日本も獨逸國たる現狀、靑少年の訓練による、靑年に於けるヒトラー・ユーゲントの活躍は今更にない事かさる。況してゐる、新體制靑年の日本にとつて、靑年男女を如何に指導し訓練しゆくか、もつて他山の石とすべきだらう

◇

約二千萬のヒトラー・ユーゲントはドイツの神助公職者とは後

時局經濟相談欄

古新聞紙の價格

問　内地から古新聞紙を輸入し御内地へ御しし販賣したいと思ひますが價格は如何に定められればよいでせうか

答　十二月二日發北米第四百二號に依り販賣價格に關する御問合せの件ですがこれは總て指下の組合員限りとされてゐるのです、御尚御問合せの古新聞紙は（御れなきもの）百斤に付二十圓九十錢となつて居ります（商務相談所扱）

自轉車古タイヤの價格

問　自轉車の古タイヤに公定價格がありますか

答　古タイヤには公定價格はありませんから九・八關係の販賣して下さい（商務相談所扱）

外畫の新體制

年內には現實か

映畫界に於ける外國映畫の取扱ひ方は從來の自由主義的な取扱ひ方から國策に副つた統制的な取扱ひ方へと急轉回を見せてゐるが、これに關聯して、外國映畫の輸入制限が愈々嚴重になつて來たことは、既報の通りである。

從來、外國映畫の輸入は、日本の映畫界の實情に鑑み、外國映畫の輸入を制限することは、映畫界の實情に鑑み、外國映畫の輸入を制限することは、映畫界の實情に鑑み、外國映畫の輸入を制限することは、

臺灣日日新報

（昭和十五年十一月二十九日　日曜日）　臺灣日日新報　第一萬四千六百二十六號　A　（一）

けふ行幸の光榮輝く
議會開設五十年式典

日佛印通商交渉
愈よ東京に移す

日支調整案を正式主席に推戴
汪氏を可決

國民政府合同會議

蔣に最後の和平勸告
汪代理主席通電を發す

臺灣の重要性激增
難關突破を切望
小林前總督離臺の挨拶

政府と統帥府の連絡懇談會

重慶動搖敵難く積極的和平運動へ

東亞經濟懇談會 第四日

齋藤新總務長官三日門司發赴任

松宮大使空路歸國

來月下旬 會談開始

襄東、襄西作戰進捗
到る所に敵捕捉殲滅戰

陸鷲、襄陽を急襲

東溝で敵を包圍殲滅

塩池廟入城の皇軍大歡迎

軍事基地建設案
米との商議可決
ウルグワイ下院　條件づきで

常任總務・顧問 連絡初會議

總務局參與に 兩大佐決定

一層の奮勵希望
森岡前總務長官挨拶

飽まで蔣政權援助
ジョーンズ米融資局長官公言

督府人事小異動

對英財政援助 案の審議延期

更に一隻擊沈

印度洋で英貨物船擊沈さる

駐滿海軍武官 桑折中將歸還

畑大將歸還

眞山青果全集 全十五卷

原價計算の方法
青木倫太郎著

空の少年兵
倉町秋次著

太空の迷書
閻振興著

森永ドライミルク
お腹をこわさず肥らす粉乳
新鮮な發育！まるく〳〵と肥る

社說

本島結核豫防事業の再出發

松山療養所工事竣工の意義

一

我國肺結核の松山療養所新築工事は、約三千六万圓の經費と三年の日子を費やして遂々二千百餘坪の病舍竝に附帶設備を以て竣工を告げ、愈々十二月一日を以て開所式を擧行することとなつた。此の工事の目的とするところは新たに結核患者の收容定員一百を增設するに拘つて、經費の分を合せて貳百五十床を增加するに過ぎないのであつて、實際の施設としては決して盡すべき程の施設ではないやうではあるが、其の實質上の意義と之等に關する施設から見ると、今後の結核對策の根據から見ても、本島に於ける結核豫防事業が昭和十三年三月總督府衛生課に於て調査を開始してから滿五年を經て此の實現に依て松山療養所新築工事の竣工は、本島結核對策の上よりして一の劃期的のものであるといふことが出來るのである。

二

結核病は其發病から死亡に至るまでの經過として死亡數の多いのは實に中年の大なる點に於て第一位に位し、而も其の死亡者の年齢が昭和五、六年代には年六千餘人多きに上り尚增加の趨勢に在るものの如く、此の死亡數から見れば癌腫數八、九千を算し次位にそれが增大する傾向に在り、本島人口の健康を考ふるべき資料となつて居るのである。從に其發病が非常多數に上つて居ることが推測せられ、一定の年次に於ける其の發病に對して國民より相當多數の死亡者を出すことゝなつたのである。

三

此の施設を竣工を告げ國庫事業として從來北病とせられた百二十床を有する療養所の他に、新に本島人の爲めに結核豫防の施設を設けたことは、實に本島に於ける結核豫防上の一大飛躍であつて、之れが施設に對しては經費の點に於ても相當思ひ切つた支出を敢てしたものであつて、從來の北病とは全く其の面目を一新したものがある。併しながら之れが施設を以て滿足すべきものでないことは勿論であつて、本島結核豫防事業の進展を期するには、尚ほ今後相當の施設を必要とするのである。

四

本島に於ける結核豫防事業は、從來北病の經營に從事した關係者の努力に依つて、或る程度の施設が出來たのであるが、其の施設の利用に關しては、從來北病の收容患者は、其の殆んど全部が貧困者であつて、其の收容に關しては、經費の點から、或は收容を拒絶せられたものもあつたやうな次第であつて、之れが爲めに收容を拒絶せられた患者は、或は自宅に於て、或は其の他の場所に於て、或は醫師の診療を受けつゝ、或は全く醫師の診療を受けずして、其の儘死亡の轉歸を辿つたものが多數あつたことゝ想像せられるのである。

至尊の行幸を仰ぎ 嚴かな記念式典

けふ 議會開設五十周年

【東京二十八日發同盟】帝國議會開設第五十周年記念式典は愈々二十九日擧行されることとなつたが、天皇陛下の行幸を仰ぎ奉る今回の式典は、日本の國力の發展を如實に物語るものがあつて、國民一般の關心も大きく、當日は午前十時から貴族院の本會議場に於て、兩院議員、各國大使、公使、樞密院議長、國務大臣、各省次官、貴族院各派代表者、衆議院各派代表者、朝鮮、臺灣、樺太、關東州、南洋廳各代表者、各地方長官、陸海軍將官、勅任官、高等官、各帝國大學總長、各官立專門學校長、各府縣會議長、各市長、各商業會議所會頭、各銀行會社代表者、各新聞社代表者、各學會代表者、各宗教團體代表者、各地方名望家、各外國大使館、公使館、其他の參列者を以て嚴肅に擧行される筈である

【東京二十八日發同盟】帝國議會開設第五十周年記念式典に參列する爲め十九日午前九時半貴族院玄關に參集した貴族院議員は、議長公爵徳川家正氏を先頭に、副議長子爵清水谷實英氏、書記官長男爵柳原義光氏、書記官男爵大木遠吉氏、同男爵松平康國氏、同子爵酒井忠正氏、同子爵松平直亮氏、同子爵松平康昌氏、同子爵松平康民氏、同子爵松平康春氏、同子爵松平康平氏、同子爵松平康英氏、同子爵松平康正氏、同子爵松平康信氏、同子爵松平康安氏、同子爵松平康定氏、同子爵松平康保氏、同子爵松平康長氏、同子爵松平康雄氏、同子爵松平康衛氏、同子爵松平康夫氏、同子爵松平康裕氏、同子爵松平康哉氏、同子爵松平康文氏、同子爵松平康武氏、同子爵松平康泰氏、同子爵松平康昭

昭和十五年十一月一日　（金曜日）　臺灣日日新報　第一万四千六百二十六號　（第三種郵便物認可）

臺日各地綜合版

臺中州鄉軍演習
南北に分れて攻防戰

【臺中特電】臺中州下在鄉軍人聯合演習は愈々來る十一月十八日より二十四日迄四日間に亘り中部一帶の山野に於て擧行されることとなつたが、その大綱は次の如くである

一、仮想敵　南軍を赤軍、北軍を白軍とす

二、兵力　南軍は歩兵一個大隊、騎兵一個小隊、機關銃一個小隊、工兵一個小隊、輜重兵一個小隊、衛生隊一個小隊、通信隊一個小隊、飛行隊一個小隊、北軍は歩兵一個大隊、騎兵一個小隊、機關銃一個小隊、工兵一個小隊、輜重兵一個小隊、衛生隊一個小隊、通信隊一個小隊、飛行隊一個小隊

三、兵力の編成　南軍は歩兵第二聯隊區在鄉軍人會員を以て編成し、北軍は歩兵第一聯隊區在鄉軍人會員を以て編成す

四、演習地域　南軍は臺中市北方大肚山麓より北斗街に至る地域、北軍は臺中市南方大肚山麓より彰化市に至る地域

五、演習目的　南軍は大肚山麓に於て敵軍を撃退し、北軍は彰化市に於て敵軍を撃退するにあり

六、演習要領　南軍は十一月十八日午前六時大肚山麓に集結し、北軍は同日午前六時彰化市に集結し、南北兩軍は同日午後二時頃より攻撃を開始し、南軍は十一月二十日午後二時頃迄に彰化市を占領し、北軍は十一月二十日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、兩軍は十一月二十一日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、十一月二十二日午前六時より攻撃を開始し、十一月二十四日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は十一月二十四日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は十一月二十四日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、十一月二十五日午前六時より攻撃を開始し、十一月二十六日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は十一月二十六日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は十一月二十六日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、十一月二十七日午前六時より攻撃を開始し、十一月二十八日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は十一月二十八日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は十一月二十八日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、十一月二十九日午前六時より攻撃を開始し、十一月三十日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は十一月三十日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は十一月三十日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、十二月一日午前六時より攻撃を開始し、十二月二日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は十二月二日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は十二月二日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、十二月三日午前六時より攻撃を開始し、十二月四日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は十二月四日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は十二月四日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、十二月五日午前六時より攻撃を開始し、十二月六日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は十二月六日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は十二月六日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、十二月七日午前六時より攻撃を開始し、十二月八日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は十二月八日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は十二月八日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、十二月九日午前六時より攻撃を開始し、十二月十日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は十二月十日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は十二月十日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、十二月十一日午前六時より攻撃を開始し、十二月十二日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は十二月十二日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は十二月十二日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、十二月十三日午前六時より攻撃を開始し、十二月十四日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は十二月十四日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は十二月十四日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、十二月十五日午前六時より攻撃を開始し、十二月十六日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は十二月十六日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は十二月十六日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、十二月十七日午前六時より攻撃を開始し、十二月十八日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は十二月十八日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は十二月十八日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、十二月十九日午前六時より攻撃を開始し、十二月二十日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は十二月二十日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は十二月二十日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、十二月二十一日午前六時より攻撃を開始し、十二月二十二日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は十二月二十二日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は十二月二十二日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、十二月二十三日午前六時より攻撃を開始し、十二月二十四日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は十二月二十四日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は十二月二十四日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、十二月二十五日午前六時より攻撃を開始し、十二月二十六日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は十二月二十六日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は十二月二十六日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、十二月二十七日午前六時より攻撃を開始し、十二月二十八日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は十二月二十八日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は十二月二十八日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、十二月二十九日午前六時より攻撃を開始し、十二月三十日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は十二月三十日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は十二月三十日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、十二月三十一日午前六時より攻撃を開始し、一月一日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は一月一日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は一月一日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、一月二日午前六時より攻撃を開始し、一月三日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は一月三日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は一月三日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、一月四日午前六時より攻撃を開始し、一月五日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は一月五日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は一月五日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、一月六日午前六時より攻撃を開始し、一月七日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は一月七日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は一月七日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、一月八日午前六時より攻撃を開始し、一月九日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は一月九日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は一月九日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、一月十日午前六時より攻撃を開始し、一月十一日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は一月十一日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は一月十一日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、一月十二日午前六時より攻撃を開始し、一月十三日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は一月十三日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は一月十三日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、一月十四日午前六時より攻撃を開始し、一月十五日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は一月十五日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は一月十五日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、一月十六日午前六時より攻撃を開始し、一月十七日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は一月十七日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は一月十七日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、一月十八日午前六時より攻撃を開始し、一月十九日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は一月十九日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は一月十九日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、一月二十日午前六時より攻撃を開始し、一月二十一日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は一月二十一日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は一月二十一日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、一月二十二日午前六時より攻撃を開始し、一月二十三日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は一月二十三日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は一月二十三日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、一月二十四日午前六時より攻撃を開始し、一月二十五日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は一月二十五日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は一月二十五日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、一月二十六日午前六時より攻撃を開始し、一月二十七日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は一月二十七日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は一月二十七日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、一月二十八日午前六時より攻撃を開始し、一月二十九日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は一月二十九日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は一月二十九日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、一月三十日午前六時より攻撃を開始し、一月三十一日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は一月三十一日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は一月三十一日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、二月一日午前六時より攻撃を開始し、二月二日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は二月二日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は二月二日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、二月三日午前六時より攻撃を開始し、二月四日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は二月四日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は二月四日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、二月五日午前六時より攻撃を開始し、二月六日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は二月六日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は二月六日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、二月七日午前六時より攻撃を開始し、二月八日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は二月八日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は二月八日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、二月九日午前六時より攻撃を開始し、二月十日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は二月十日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は二月十日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、二月十一日午前六時より攻撃を開始し、二月十二日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は二月十二日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は二月十二日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、二月十三日午前六時より攻撃を開始し、二月十四日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は二月十四日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は二月十四日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、二月十五日午前六時より攻撃を開始し、二月十六日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は二月十六日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は二月十六日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、二月十七日午前六時より攻撃を開始し、二月十八日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は二月十八日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は二月十八日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、二月十九日午前六時より攻撃を開始し、二月二十日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は二月二十日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は二月二十日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、二月二十一日午前六時より攻撃を開始し、二月二十二日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は二月二十二日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は二月二十二日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、二月二十三日午前六時より攻撃を開始し、二月二十四日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は二月二十四日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は二月二十四日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、二月二十五日午前六時より攻撃を開始し、二月二十六日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は二月二十六日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は二月二十六日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、二月二十七日午前六時より攻撃を開始し、二月二十八日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は二月二十八日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は二月二十八日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、二月二十九日午前六時より攻撃を開始し、三月一日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は三月一日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は三月一日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、三月二日午前六時より攻撃を開始し、三月三日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は三月三日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は三月三日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、三月四日午前六時より攻撃を開始し、三月五日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は三月五日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は三月五日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、三月六日午前六時より攻撃を開始し、三月七日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は三月七日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は三月七日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、三月八日午前六時より攻撃を開始し、三月九日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は三月九日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は三月九日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、三月十日午前六時より攻撃を開始し、三月十一日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は三月十一日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は三月十一日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、三月十二日午前六時より攻撃を開始し、三月十三日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は三月十三日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は三月十三日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、三月十四日午前六時より攻撃を開始し、三月十五日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は三月十五日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は三月十五日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、三月十六日午前六時より攻撃を開始し、三月十七日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は三月十七日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は三月十七日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、三月十八日午前六時より攻撃を開始し、三月十九日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は三月十九日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は三月十九日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、三月二十日午前六時より攻撃を開始し、三月二十一日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は三月二十一日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は三月二十一日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、三月二十二日午前六時より攻撃を開始し、三月二十三日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は三月二十三日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は三月二十三日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、三月二十四日午前六時より攻撃を開始し、三月二十五日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は三月二十五日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は三月二十五日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、三月二十六日午前六時より攻撃を開始し、三月二十七日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は三月二十七日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は三月二十七日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、三月二十八日午前六時より攻撃を開始し、三月二十九日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は三月二十九日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は三月二十九日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、三月三十日午前六時より攻撃を開始し、三月三十一日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は三月三十一日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は三月三十一日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、四月一日午前六時より攻撃を開始し、四月二日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は四月二日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は四月二日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、四月三日午前六時より攻撃を開始し、四月四日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は四月四日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は四月四日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、四月五日午前六時より攻撃を開始し、四月六日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は四月六日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は四月六日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、四月七日午前六時より攻撃を開始し、四月八日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は四月八日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は四月八日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、四月九日午前六時より攻撃を開始し、四月十日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は四月十日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は四月十日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、四月十一日午前六時より攻撃を開始し、四月十二日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は四月十二日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は四月十二日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、四月十三日午前六時より攻撃を開始し、四月十四日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は四月十四日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は四月十四日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、四月十五日午前六時より攻撃を開始し、四月十六日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は四月十六日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は四月十六日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、四月十七日午前六時より攻撃を開始し、四月十八日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は四月十八日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は四月十八日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、四月十九日午前六時より攻撃を開始し、四月二十日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は四月二十日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は四月二十日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、四月二十一日午前六時より攻撃を開始し、四月二十二日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は四月二十二日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は四月二十二日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、四月二十三日午前六時より攻撃を開始し、四月二十四日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は四月二十四日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は四月二十四日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、四月二十五日午前六時より攻撃を開始し、四月二十六日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は四月二十六日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は四月二十六日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、四月二十七日午前六時より攻撃を開始し、四月二十八日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は四月二十八日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は四月二十八日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、四月二十九日午前六時より攻撃を開始し、四月三十日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は四月三十日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は四月三十日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、五月一日午前六時より攻撃を開始し、五月二日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は五月二日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は五月二日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、五月三日午前六時より攻撃を開始し、五月四日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は五月四日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は五月四日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、五月五日午前六時より攻撃を開始し、五月六日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は五月六日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は五月六日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、五月七日午前六時より攻撃を開始し、五月八日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は五月八日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は五月八日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、五月九日午前六時より攻撃を開始し、五月十日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は五月十日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は五月十日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、五月十一日午前六時より攻撃を開始し、五月十二日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は五月十二日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は五月十二日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、五月十三日午前六時より攻撃を開始し、五月十四日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は五月十四日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は五月十四日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、五月十五日午前六時より攻撃を開始し、五月十六日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は五月十六日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は五月十六日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、五月十七日午前六時より攻撃を開始し、五月十八日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は五月十八日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は五月十八日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、五月十九日午前六時より攻撃を開始し、五月二十日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は五月二十日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は五月二十日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、五月二十一日午前六時より攻撃を開始し、五月二十二日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は五月二十二日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は五月二十二日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、五月二十三日午前六時より攻撃を開始し、五月二十四日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は五月二十四日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は五月二十四日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、五月二十五日午前六時より攻撃を開始し、五月二十六日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は五月二十六日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は五月二十六日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、五月二十七日午前六時より攻撃を開始し、五月二十八日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は五月二十八日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は五月二十八日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、五月二十九日午前六時より攻撃を開始し、五月三十日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は五月三十日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は五月三十日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、五月三十一日午前六時より攻撃を開始し、六月一日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は六月一日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は六月一日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、六月二日午前六時より攻撃を開始し、六月三日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は六月三日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は六月三日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、六月四日午前六時より攻撃を開始し、六月五日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は六月五日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は六月五日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、六月六日午前六時より攻撃を開始し、六月七日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は六月七日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は六月七日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、六月八日午前六時より攻撃を開始し、六月九日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は六月九日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は六月九日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、六月十日午前六時より攻撃を開始し、六月十一日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は六月十一日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は六月十一日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、六月十二日午前六時より攻撃を開始し、六月十三日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は六月十三日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は六月十三日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、六月十四日午前六時より攻撃を開始し、六月十五日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は六月十五日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は六月十五日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、六月十六日午前六時より攻撃を開始し、六月十七日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は六月十七日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は六月十七日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、六月十八日午前六時より攻撃を開始し、六月十九日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は六月十九日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は六月十九日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、六月二十日午前六時より攻撃を開始し、六月二十一日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は六月二十一日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は六月二十一日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、六月二十二日午前六時より攻撃を開始し、六月二十三日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は六月二十三日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は六月二十三日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、六月二十四日午前六時より攻撃を開始し、六月二十五日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は六月二十五日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は六月二十五日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、六月二十六日午前六時より攻撃を開始し、六月二十七日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は六月二十七日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は六月二十七日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、六月二十八日午前六時より攻撃を開始し、六月二十九日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は六月二十九日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は六月二十九日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、六月三十日午前六時より攻撃を開始し、七月一日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は七月一日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は七月一日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、七月二日午前六時より攻撃を開始し、七月三日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は七月三日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は七月三日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、七月四日午前六時より攻撃を開始し、七月五日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は七月五日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は七月五日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、七月六日午前六時より攻撃を開始し、七月七日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は七月七日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は七月七日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、七月八日午前六時より攻撃を開始し、七月九日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は七月九日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は七月九日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、七月十日午前六時より攻撃を開始し、七月十一日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は七月十一日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は七月十一日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、七月十二日午前六時より攻撃を開始し、七月十三日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は七月十三日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は七月十三日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、七月十四日午前六時より攻撃を開始し、七月十五日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は七月十五日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は七月十五日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、七月十六日午前六時より攻撃を開始し、七月十七日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は七月十七日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は七月十七日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、七月十八日午前六時より攻撃を開始し、七月十九日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は七月十九日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は七月十九日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、七月二十日午前六時より攻撃を開始し、七月二十一日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は七月二十一日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は七月二十一日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、七月二十二日午前六時より攻撃を開始し、七月二十三日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は七月二十三日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は七月二十三日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、七月二十四日午前六時より攻撃を開始し、七月二十五日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は七月二十五日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は七月二十五日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、七月二十六日午前六時より攻撃を開始し、七月二十七日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は七月二十七日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は七月二十七日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、七月二十八日午前六時より攻撃を開始し、七月二十九日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は七月二十九日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は七月二十九日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、七月三十日午前六時より攻撃を開始し、七月三十一日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は七月三十一日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は七月三十一日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、八月一日午前六時より攻撃を開始し、八月二日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は八月二日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は八月二日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、八月三日午前六時より攻撃を開始し、八月四日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は八月四日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は八月四日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、八月五日午前六時より攻撃を開始し、八月六日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は八月六日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は八月六日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、八月七日午前六時より攻撃を開始し、八月八日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は八月八日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は八月八日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、八月九日午前六時より攻撃を開始し、八月十日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は八月十日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は八月十日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、八月十一日午前六時より攻撃を開始し、八月十二日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は八月十二日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は八月十二日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、八月十三日午前六時より攻撃を開始し、八月十四日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は八月十四日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は八月十四日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、八月十五日午前六時より攻撃を開始し、八月十六日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は八月十六日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は八月十六日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、八月十七日午前六時より攻撃を開始し、八月十八日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は八月十八日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は八月十八日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、八月十九日午前六時より攻撃を開始し、八月二十日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は八月二十日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は八月二十日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、八月二十一日午前六時より攻撃を開始し、八月二十二日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は八月二十二日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は八月二十二日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、八月二十三日午前六時より攻撃を開始し、八月二十四日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は八月二十四日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は八月二十四日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、八月二十五日午前六時より攻撃を開始し、八月二十六日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は八月二十六日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は八月二十六日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、八月二十七日午前六時より攻撃を開始し、八月二十八日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は八月二十八日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は八月二十八日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、八月二十九日午前六時より攻撃を開始し、八月三十日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は八月三十日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は八月三十日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、八月三十一日午前六時より攻撃を開始し、九月一日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は九月一日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は九月一日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、九月二日午前六時より攻撃を開始し、九月三日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は九月三日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は九月三日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、九月四日午前六時より攻撃を開始し、九月五日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は九月五日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は九月五日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、九月六日午前六時より攻撃を開始し、九月七日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は九月七日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は九月七日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、九月八日午前六時より攻撃を開始し、九月九日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は九月九日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は九月九日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、九月十日午前六時より攻撃を開始し、九月十一日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は九月十一日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は九月十一日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、九月十二日午前六時より攻撃を開始し、九月十三日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は九月十三日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は九月十三日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、九月十四日午前六時より攻撃を開始し、九月十五日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は九月十五日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は九月十五日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、九月十六日午前六時より攻撃を開始し、九月十七日午後二時頃迄に大肚山麓を占領し、北軍は九月十七日午後二時頃迄に彰化市を占領し、兩軍は九月十七日午後二時頃迄に現在線に於て對峙し、九月十八日午前六時より攻撃を開始し、九月十九日午後二時頃迄に